

報道関係各位

2018年5月31日
株式会社博報堂D Yメディアパートナーズ
株式会社博報堂D Yデジタル
デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社
株式会社プラットフォーム・ワン
イー・ガーディアン株式会社

ブランドセーフティの担保されたデジタル広告の配信への取り組み 「Agency Whitelist」の提供と運用を開始

株式会社博報堂D Yメディアパートナーズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：矢嶋弘毅、以下 博報堂D Yメディアパートナーズ）と株式会社博報堂D Yデジタル（本社：東京都港区、代表取締役社長：辻輝、以下 博報堂D Yデジタル）は、デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO：島田雅也、以下 DAC）、株式会社プラットフォーム・ワン（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：秋葉典秀、以下 P1）、イー・ガーディアン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：高谷康久、以下 イー・ガーディアン）と共同でデジタル広告の透明性や品質に関わる重要課題に対応する「Hakuhodo DY MQMTM」（※1）の一環として、適切な広告掲載面への配信による広告主ブランドの安全性＝「Brand Safety」（ブランドセーフティ）を担保するため、博報堂D Yグループ独自の基準に基づいて安全な掲載サイトのみへの広告の配信を実現する「Agency Whitelist」（エージェンシーホワイトリスト）の提供を開始しました。

近年、デジタルでの広告出稿が拡大する中、特に運用型広告における取引は大幅に伸長しています。運用型広告が好調な要因としては、データやテクノロジーを活用して人単位でのターゲティングを用いた配信が可能であることが挙げられます。しかしその反面、広告掲載面はネットワーク化された媒体社の広告枠をDSP/SSPといったシステムを介して機械的に取引されるため、一部不適切な掲載面に広告が配信されてしまうことが問題になっています。

これらの課題に対する一般的な対応策の一つとして、指定したドメインを除外するブラックリスト配信があります。ブラックリストは掲載ボリュームを維持しながら不適切な掲載面を除外できますが、WEBサイトやアプリが日々増加し続ける昨今、全てを除外するのは難しい側面があります。また、掲載ドメインを指定して配信するホワイトリスト配信という対応策もあります。この方法は掲載面を完全に指定できる一方で、一定の基準に沿って客観的にリストを作成する手間がかかる上、掲載ボリュームが出ないといった課題があります。さらに近年、もう一つの対応策として、よりプレミアムな掲載媒体に限定して複数のリッチなフォーマットを組み合わせる優先的に広告枠を買い付けることが可能なPMP（プライベートマーケットプレイス）といった配信方法も存在しています。

こうした状況の中、博報堂 D Y メディアパートナーズと博報堂 D Y デジタルは安全な広告掲載に向けたさらなる取り組みの一環として、DAC とその連結子会社である P1、およびイー・ガーディアンと共同で、一定の掲載ボリュームを維持しながら完全に掲載面を指定して配信を行う「Agency Whitelist」の提供を開始しました。本リストは、IAB が規定している Content Categories（※2）の基準に日本独自のカテゴリを追加し、それらの判定をイー・ガーディアンによる目視チェックにより厳密に精査したものです。また、本リストの元となるドメイン数は 15,000 を超える大規模なリストから生成されており、掲載ボリュームも一定以上確保して配信が可能なのも検証済みです。

本リストの提供開始によって、今後、博報堂 D Y グループの運用型広告は、独自に構築したブラックリストでの配信対応、Agency Whitelist 配信、Hakuhodo DY PMP_の 3 つで対応していきます。各配信方法にはそれぞれの特徴があり、目的に合わせて最適な組み合わせを行うことで、安全性に配慮しながらも最も高いパフォーマンスを実現するメディアプランニングを推進します。また DAC は「Agency Whitelist」を基に、博報堂 D Y メディアパートナーズや博報堂 D Y デジタルとの連携による広告運用のほか、各媒体社へのコンサルティングを推進します。

		掲載面の安全性	コンテンツのプレミアム性	広告掲載の優先度	掲載単価	フォーマット
DIRECT BUYING	Reservation	◎	◎	◎	△ 高	○ 配信メニューに依存
	Private Market Place Hakuhodo DY PMP_™	◎	◎	○	△ 高	◎ 動画やリッチ配信も可
PROGRAMMATIC BUYING	Agency Whitelist	◎	○	△	○ 中-低	△ 通常バナー枠が中心
	Open Auction	○	△	△	◎ 低	△ 通常バナー枠が中心
	独自に構築したブラックリストでの配信対応	○	△	△	◎ 低	△ 通常バナー枠が中心

博報堂 D Y メディアパートナーズと博報堂 D Y デジタルは「Hakuhodo DY MQM_™」の一つの戦略として本ソリューションを推進するとともに、これからも広告の透明性や品質改善、真に安全で効果のあるデジタル広告のあり方を追求し、その発展を推進していきます。

※1 「Hakuhodo DY MQM_™」は、デジタル広告の透明性や品質に関わる 3 つの重要課題、「Ad Fraud」（アドフロード）、「Brand Safety」（ブランドセーフティ）、「Viewability」（ビューアビリティ）に対して全方位で対応する博報堂 D Y グループオリジナルのサービス。

URL : <https://www.hakuhodody-digital.co.jp/news/726>

※2 オンライン広告における技術的標準規格の策定をはじめとして、動向調査や法整備などを行う組織である IAB（Interactive Advertising Bureau、本部：ニューヨーク）が提唱する OpenRTB API Specification 内で規定された広告の掲載面を分類するためのカテゴリ区分。

URL : <https://www.iab.com/wp-content/uploads/2016/03/OpenRTB-API-Specification-Version-2-5-FINAL.pdf>

【イー・ガーディアン株式会社 会社概要】

投稿監視、風評調査、ソーシャルリスニングのリーディングカンパニーとして、導入実績 800 社以上の基盤を誇る総合ネットセキュリティ企業です。事業領域は年々拡大しており、ゲームサポートやアド・プロセス、そして子会社化した EG セキュアソリューションズ株式会社との連携によるサイバーセキュリティ分野まで幅広く対応が可能。センターは、提携先を含めてグループで国内 5 都市、海外 8 都市、19 拠点の業界最大級の規模を有します。

代表者：代表取締役社長 高谷 康久

所在地：東京都港区麻布十番 1-2-3 プラスアストルビル 4F

設立：1998 年 5 月（2016 年に東証一部上場）

資本金：36,428 万円（2018 年 3 月末日現在）

業務内容：ブログ・SNS・掲示板企画コンサルティング/リアルタイム投稿監視業務/ユーザーサポート業務

オンラインゲームカスタマーサポート業務/コンプライアンス対策・風評・トレンド調査業務

コミュニティサイト企画・サイト運営代行業務・広告審査代行サービス業務/人材派遣業務

URL：<http://www.e-guardian.co.jp/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社博報堂 D Y メディアパートナーズ

広報室 岡本・江渡 TEL：03-6441-6161

株式会社博報堂 D Y デジタル

経営企画ディビジョン 広報担当 三石・大石 TEL：03-6441-7888

デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社

戦略統括本部 広報担当 TEL：03-5449-6320 E-mail：ir_inf@dac.co.jp

株式会社プラットフォーム・ワン

コンサルティング事業部 広報担当 TEL：03-5421-8211 E-mail：consulting@platform-one.co.jp

イー・ガーディアン株式会社

広報 TEL：03-5575-2561 E-mail：info@e-guardian.co.jp